平成21年3月20日発行

第165号

発行/高円寺地域集会施設運営協議会
〒166-0011　杉並区梅里1-22-32
事務局　☎3317-6614

セシオン杉並・和田区民集会所・高円寺北区民集会所

セシオン

高円寺地域区民センター報

ふれあい

http://koenjiunkyo.web.infoseek.co.jp

わい!わい! わだまつり2009

日時 4月25日(土)10:00～14:00 雨天実施

会場 和田区民集会所、和田障害者交流館、和田小学校校庭

＊お願い＊
※自転車でのご来場はご遠慮ください
※マイバッグをご持参ください
※ゴミは各自お持ち帰りください

主催　高円寺地域集会施設運営協議会　杉並区障害者団体連合会
＊都合により内容が変更になる場合がございます。

定期総会開催のお知らせ

高円寺地域集会施設運営協議会の平成21年度定期総会を左記のとおり行います。お誘い合わせのうえ、ご出席ください。

記

日時　4月28日(火)午後1時30分より
場所　セシオン杉並　3階　第8・9・10集会室
議題
○平成20年度事業報告・決算報告
○会計監査報告
○会則の一部改正に関する件
○平成21年度事業計画(案)・予算(案)
○その他

高円寺地域集会施設運営協議会
会長　大久保　貢祐

きた!きた! 高円寺まつり

3月7日(土) 午前10時～午後3時
出席320名

回覧

★高円寺地域集会施設運営協議会事務局　☎3317-6614

セシオン杉並まつり2009

■開催日　平成21年6月6日(土)10時～15時
6月7日(日)10時～15時

グループ発表・展示作品募集!!

会場	ホール	第1・2和室
日時	6月6日(土) 午前10時 ～午後3時	6月6日(土)・7日(日) 両日とも 午前10時～午後3時
持ち時間	30分 準備・後片づけ を含む	30分 準備・後片づけ を含む
募集団体数	8グループ	両日で6グループ

◎参加資格

◎次の地域に在住、在勤の方々で『さざんかーど』に登録をしているグループ
梅里1丁目・松ノ木2～3丁目・和田1～3丁目・堀ノ内2～3丁目・高円寺南1～5丁目・高円寺北1～4丁目

★申し込み方法
往復ハガキに「セシオン杉並まつり参加希望」と明記し、
①グループ名 ②代表者名 ③住所 ④電話番号(日中連絡のつく番号) ⑤参加内容(展示作品、演目などを詳しく)を明記し返信用にご自分の宛名を書き、
杉並区梅里1-22-32
高円寺地域区民センター・セシオン杉並まつり実行委員会 宛
お送り下さい。
★**締切日／3月31日(火)必着**
(申し込み多数の場合は抽選)

◎作品展示会場 展示室(1階)

★申し込み注意事項
①グループ名、代表者名(連絡先・電話番号)作品の種類・展示方法(Ⓐ壁(パネル)Ⓑ机Ⓒ壁と机)の中から一つを明記してください
②募集内容
Ⓐ壁(パネル)
(360㎝×120㎝)　12グループ
Ⓑ机
(180㎝×135㎝)　6グループ
Ⓒ壁と机
(360㎝×120㎝)
(360㎝×45㎝)　9グループ
※申し込み多数の場合は抽選となります。
★**抽選及び説明会日時・場所**
4月19日(日)　午前10時
セシオン杉並
第8・9・10集会室(3階)

◎グループ発表会場 ホール／第一・第二和室

★申し込み注意事項
①申し込みハガキに出演日、出演会場を明記してください。
②お申し込みは1グループ1カ所のみ
③出演の順番については一任させていただきます。
尚、3年連続の出演は不可(ホールのみ)
④抽選後、当選グループは引き続き説明会にご出席ください。
★**抽選会及び説明会日時・場所**
4月19日(日)　午後1時
セシオン杉並
第8・9・10集会室(3階)

◎フリーマーケット

日時：平成21年6月6日(土)
午前10時～午後4時
6月7日(日)
午前10時～午後3時
会場：セシオン杉並
第8・9・10集会室(3階)
1区画約2m×2m
対象：区内在住、在勤、在学の方
各日16組(業者は不可)
参加費　一、〇〇〇円
◎申し込み方法
往復ハガキに
「フリーマーケット出店希望」
①住所
②氏名
③電話番号(日中連絡のつく番号)
④出店希望日
⑤出店品名(食料品・電化製品は不可)
以上を明記し、返信用にご自分の宛名を記入の上、高円寺地域区民センター「セシオン杉並まつり」実行委員会宛お申込みください。
★**締切日3月31日(火)必着**
(申し込み多数の場合は抽選)
★出店当選者は説明会に必ずご出席ください
説明会
5月17日(日)午後1時30分
セシオン杉並
第8・9・10集会室(3階)
問合せ先・高円寺地域集会施設運営協議会
(3317)6614

次号166号
5月20日
発行予定

印刷／(株)佐野

地元NPO 団体紹介 その①

NPO法人 楽弦

代表　川上田鶴子
杉並区和田1―11―15

まず最初に、NPOは行政が出来ない事そして民間企業が興味を示さない地域の課題に取り組んで行く事が役割だと思っております。そしてわたくしどもの団体は、

♪音楽は人を元気にします
♪音楽は人を優しくします
♪音楽は人を幸せにします

この3つをmottoに活動をしております。

人が生活していく上で必ずしも音楽は必要とされていません。しかし、少年犯罪の加害者が育った環境に音楽に親しむ機会がなかったという共通した結果も報告されている今、音楽を楽しむことで、人の心が豊かになり健全な社会を創る一端が担えると信じ、地域の方々と手を携え、実りある活動をコツコツ行っております。

活動内容

★NPO支援基金チャリティーコンサート
セシオン杉並
フェスタの中で行われるコンサートで、収益の一部を支援基金に寄付しています。

★ドレミファマナー
杉並区内幼稚園　保育園
コンサート会場も、公共の場。誰でもが快適にその空間を共有するためのマナーを学びます。

★リズムで遊ぼうチャチャチャ
杉並区和田　めいた音楽院地下スタジオ（毎木曜日）
親子のコミュニケーションを大切に考えたプログラムです。
他。

★番町ミニコンサート
千代田区立番町小学校
毎年、付近住民の方もご招待して番町幼稚園が主催で行っているコンサートです。

★新宿区居場所事業
新宿区立牛込第三中学校
土曜日に付近の小学生、住民を招待し行われる事業で、中学生と一緒に楽器に触れ、ひとつの曲を仕上げます。その中で子ども達と地域住民の繋がりを強くしていきます。

★横浜国際文化セミナー
横浜ロイヤルパークホテル
毎回、テーマを決めいろいろな文化を紹介しています。

昨年12月20日、21日とセシオン杉並に於いて『すぎなみNPOフェスタ』が開催されました。第4回目となりましたこのイベントは、NPOが企画実施する事業に、幅広い区民・団体等が参加・体験してもらうことを通じて、「NPO活動への理解促進」と「NPO支援基金制度の普及啓発」を図ることを目的としているものでございます。区民の皆さんや区内の企業の方々に、NPOについてご理解いただき、どのようなNPOがどのような活動をしているのかと興味を持っていただく。さらに、区内のNPOが地域の方々と一緒に、元気に活動していくことで、NPOもますます活性され、地域と共に発展していくのではないかなぁ・・・

歩きながら、元気と文化が、すぎなみ生まれる街。

文化部講演会より

「地球の未来を救え」

鈴木　基之 氏

今地球は、地球温暖化、生物多様性の危機など地球の存続に係わるいろいろな難題に直面している。今回は主として地球温暖化の現状について話をする。

「地球温暖化は何故起こる」

大気中の炭酸ガスが、地球の温暖化を起こすことは19世紀の物理化学者アーレニウスが発表している。太陽から放射されたエネルギーが地球表面を温め、この温められた地表から、また大気中を通って宇宙空間に熱エネルギーが放射される。この時大気中に炭酸ガスなどの熱エネルギーを吸収するガス（CO_2の他に水蒸気、メタン、オゾンなどがある）があると、大気が温められ結果として気温が上昇する。大気中に炭酸ガスなどがない場合は、地球の温度は-18℃となり、この温度と大気との温度差が炭酸ガス等による効果である。

産業革命以来、過去140年間の地球表面温度は、凹凸があるが次第に上昇し始め、特に最近の気温上昇は著しい。この原因は、石炭・石油などのエネルギー使用による炭酸ガスなどが大気中に蓄積して起こるためである。

「地球温暖化の影響はどの位か」

IPCC（気候変動に関する国際調査）第4次報告書は、大気の温度が2～3℃上昇すると、水資源、食料生産、生態系、感染症、海水位などへ影響が現れることや異常気象の頻度が増加すると述べている。実際に、1961～1990年の平均気温から0・5℃程度の上昇した最近の北極海の海氷の面積は、1950年に比較して85％に減少し、アンデス山脈・グリーンランド・スイスなどの氷河の後退が起こっている。また異常気象については、オーストラリアの洪水、米国東部・西部の旱魃やバングラディシュのサイクロン被害、日本での去年の異常降雪、黄砂の観測日の増加等が目立つ。

日本のスーパーコンピュータ（地球シミュレータ）の計算によれば、現在の状態で推移した時の2100年の気温は、＋6～8℃である。この温度変化の影響は非常に大きい。現在よりも1・6℃の温度上昇によって、2080年に数億人が飢餓やマラリア、洪水の危機に面し、30億人が水不足に苦しむとの報告がある。また5℃の上昇では、40％の生物種が絶滅し、沿岸部の面積が30％消失し、顕著な穀物生産性の低下が起こることが予想されている。さらに自然だけでなく、人類の文化にも影響が及ぶことも警告されている。

「人間活動が、地球の限界を超えた」

現在の社会は、石油や石炭、天然ガス等の炭素を含んだエネルギーの消費によって支えられている。農業社会でのエネルギー消費（12、000kcal／d・人）に比較して、工業化のために現在日本ではその8倍、米国では20倍のエネルギーを消費している。さらに森林の伐採と耕作地への転用など人間活動が、自然の炭素循環量を減少させている。また食料生産のために、過剰な窒素肥料が撒かれ、これが淡水・海水域に流出し、自然の窒素固定能力を超えたため、過栄養状態になり生態系の破壊が起こっている。

地球上のエネルギー、食料、水等の資源も不足が心配されるようになり、その獲得を巡って紛争が起きている。従来と同様な成長を続ければ、早晩破局が訪れる状態である。

「持続可能な社会への取り組み」

現在地球環境の破局を回避する計画が種々議論されている。これらの計画は、将来とも地球が破局することがないように、現在の目標や計画を設定するものである。

既にEUは、2020年までにCO_2の20％削減と先進国で2050年までに60～80％の削減を提案している。日本においても、2007年に21世紀環境立国戦略を検討し、〝美しい星50〟の提案を行った。「2050年までに世界のCO_2排出量を50％削減する」計画である。具体的には、現在の日本の一人当たりの炭素排出量2・5トン／年を2050年の世界人口に対しての平均値0・4トン／年に、また化石燃料の使用量を1／6にすることを目標に挙げている。

現状では、非常に難しい達成目標である。新エネルギーの創造や普及、リサイクル可能な・長寿命な設備や住居などが求められている。そしてそのようなものへ価値観を見出し、心の豊かさを実感することが大事であるとされる。

難しいことであるが、〝地球の未来のために、力を合わせて乗り切るしかない〟と思っている。

鈴木　基之 氏：東京大学名誉教授
国連大学特別顧問
放送大学教授